

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4218	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生間の議論を中心に授業を進める。学期末には学生による口頭発表と質疑応答がある。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業参加（40%）、研究ノート（30%）、論文（20%）、論文発表（10%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表出来ること。研究ノートでは作品と先行研究に関する十分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、十分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項や発展的な考えを準備する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 氷山理論と作品読解に向けて 課題説明	講義、意見交換	“The Doctor and the Doctor’s Wife” を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教、倫理的行為	意見交換	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪の拒絶、異人種との共存	意見交換	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と 日常、破壊と文明、自己喪失	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、愛の喪 失、伝統的共同体	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲 望、夫婦の危機	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばすこと、猫が 表すもの、父権制	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
8	“Indian Camp” 生と死、通過儀礼、マイ ノリティー女性の身体、論文作成法	意見交換、講義	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
9	“Indian Camp” 自然、文明、医師の倫理 大学生の研究倫理	意見交換、講義	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
10	“End of Something” 未成熟な恋愛、時間 について	意見交換	“End of Something,” 研究 書、論文を読む
11	“End of Something” ハードボイルド的文 体、男性間の連帯と女性	意見交換	“End of Something,” 研究 書、論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成
13	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	研究発表	口頭発表と質疑応答 意見交換	発表原稿作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	平野 幸治	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4210	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ ①～③の組み合わせ（毎回の授業では「①主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業」を行うが、学生の便宜を考慮して適宜「③主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業」を実施し、準備学修の時間には Moodle 等に「②主に音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業」を用意し実施する。）
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し chat を用いて共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola や Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①毎回の授業で回収する shuttle card の英語で述べる観点 (2%×14回=28%)。②グループディスカッション終了時にグループ内の書記がフォームに記入しその成果を発表する観点 (5%×4回=20%)。③グループワークの成果をプレゼンテーション (10分程度の発表) する観点 (11%×2回=22%)。④各自の発表を研究者としての倫理を踏まえたレポート (3,000字程度の日本語の文章) を学期末に提出する観点 (30%: レポート 20%+アブストラクト提出 10%)。
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明します。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション：E.M. フォスターの文学的意義と research について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント (1500wds) の下調べおよび DVD を視聴
2	E.M. フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』：描写の「曖昧さ」の意義	講義とプロット・サマリーの説明	プリント (1500wds) の下調べおよび DVD を視聴
3	E.M. フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』：描写の「曖昧さ」の多様性	②-1 グループディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	作品研究『ハワーズ・エンド』：登場人物内面の変化、特に不寛容について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント (1500wds) の下調べおよび DVD を視聴
5	作品研究『ハワーズ・エンド』：登場人物内面の展開、特に和解について	②-2 グループディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
6	作品研究『ハワーズ・エンド』：比喩の持つ意義	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント (1500wds) の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究『ハワーズ・エンド』の③-1 グループワークの発表と講評	③-1 グループワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジュメの作成
8	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』：語り手の「曖昧さ」の意義	講義とプロット・サマリーの説明	プリント (1500wds) の下調べおよび DVD を視聴
9	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』：語り手の「曖昧さ」の効果	②-3 グループディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	作品研究『眺めの良い部屋』：登場人物内面の変化と展開	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
11	作品研究『眺めの良い部屋』：登場人物内面の変化、特に成熟について	②-4 グループディスカッションと発表	ノートの整理とレジユメの下調べと資料整理
12	E.M. フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』の③-2 グループ・ワークの発表	③-2 グループ・ワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジユメの作成
13	William Shakespeare の作品研究と研究者としての倫理構築と plagiarism	④レポートの提出と講義	原稿の整理とプリント（1500wds）の下調べ
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	④レポートの返却と講評	グループディスカッションと講評	ノートの整理

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4208	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、学生の発表、質疑応答、教員による解説、ディスカッションを中心に授業を進める。学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料配布、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業時の積極参加（20%）、発表（30%）、レポート（30%）、要約の提出（20%）
評価基準	<p>授業時の積極参加（20%）：授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量</p> <p>発表（30%）：レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか、発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など）</p> <p>レポート（30%）：複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的にレポートが構成されているか、レポートの内容が的確に要点を捉えているかどうか、自分の考えが明確に述べられているかどうか</p> <p>要約の提出（20%）：日本語教科書各章の要約の提出（内容のポイントを捉えているかどうか、全回提出したかどうか）、英語文献の要約の提出（英語が理解できているか、内容のポイントを捉えているかどうか）</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入（社会言語学とは、授業の運営方法、発表とレジメの作成方法、要約の仕方）	講義	教科書 1-15 頁読む
2	地域による言語の違い	学生の発表ディスカッション	教科書 19-36 頁読み要約発表者はレジメ作成
3	言語と社会階級	学生の発表ディスカッション	教科書 37-51 頁読み要約発表者はレジメ作成
4	人種、民族による言語差	学生の発表ディスカッション	教科書 52-65 頁読み要約発表者はレジメ作成
5	言語の性差	学生の発表ディスカッション	教科書 66-82 頁読み要約発表者はレジメ作成
6	言語の年齢差	学生の発表ディスカッション	教科書 83-95 頁読み要約発表者はレジメ作成
7	言語の状況差と適切さ	学生の発表ディスカッション	教科書 96-112 頁読み要約発表者はレジメ作成
8	呼びかけ表現・ことばによる丁寧表現	学生の発表ディスカッション	教科書 113-140 頁読み要約発表者はレジメ作成
9	ことばのイメージ・会話スタイル	学生の発表ディスカッション	教科書 141-175 頁読み要約発表者はレジメ作成
10	含意と文化・非言語伝達	学生の発表ディスカッション	教科書 176-204 頁読み要約発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	社会言語学と英語教育、英語文献の読み方、レポートの書き方、研究倫理教育	学生の発表、講義ディスカッション	教科書 205-212 頁読み要約発表者はレジメ作成
12	What do sociolinguists study?	英語文献精読演習ディスカッション	英語テキスト 1-3 頁精読し要約、レポート作成
13	What are the different ways we say things?	英語文献精読演習ディスカッション	英語テキスト 4-16 頁精読し要約、レポート作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括	ディスカッション	レポート提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	11 回目～13 回目の 3 回の授業は英語での予習・復習が必要 言語学概論を履修済か履修中が好ましい
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	丹木 博一
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4214	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	提出課題（18%＝2%×9回）、授業参画（14%＝1%×14回）、グループ発表（20%）、期末課題（2,500字以上のレポート）（48%）
評価基準	提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 授業参画：毎回の授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。 グループ発表：グループワークを通して研究関心を練り上げ、問いを提起し、その問いについて適切な文献を選び、それを正確に読解した上で、その内容の紹介とグループによる独自の考察を加えて、分かりやすく発表できるかどうか。 期末課題：複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション	講義自己紹介	自己紹介の準備。夏休み課題（ブックノート）の提出。
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法・研究倫理	講義	教科書①第1章を読み、ポイントを要約して提出。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	自分の研究関心に叶う文献を探し書誌データを記し提出。
4	グループごとの研究テーマの練り上げテキスト批評の仕方を学ぶ	講義グループ作業	教科書①第2章を読み、ポイントを要約して提出。
5	『星の王子さま』講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.7-94を読み、重要ポイントを要約し提出。
6	『星の王子さま』講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.94-137を読み、重要ポイントを要約し提出。
7	研究事例の紹介グループ発表の仕方についての説明	講義グループ作業	グループごとに研究の概要を提示する。
8	グループ発表	グループ発表質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
9	グループ発表	グループ発表質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
10	グループ発表	グループ発表質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
11	グループ発表	グループ発表質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	グループ発表の振り返り個人研究への導入	講義・小論文作成のエクササイズ	個人研究のテーマと問題意識をまとめて提出。
13	研究レポート（小論文）作成の手順を学ぶ	講義・小論文作成のエクササイズ	教科書①第3章を読む。小論文の構成を模式図にして提出。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held（定期試験期間内に小論文提出）			
14	小論文へのコメントゼミ I に向けてのエクササイズ	講義・エクササイズ	教科書①をもう一度読み直しておく。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>Zoom を用いたリアルタイム型の授業となる。</p> <p>論文輪読、ゼミ論のテーマ発表、本の要約発表は Zoom でレジュメや PPT 資料を画面共有しながら行う。他の学生の発表に対する意見・質問は、Zoom のチャットで行う。</p> <p>論文輪読、要約発表では担当者に用語クイズを作成してもらい、理解度を確認するためのグループワークを行う。クイズの答えを Google フォームに書き込み、他の学生とシェアする。ここでの書き込みも輪読参加点や質問点にカウントする。</p>
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更あり】

評価方法	<p>①論文輪読：20%</p> <p>②ゼミ研究テーマの発表：10%</p> <p>③本の要約発表：30%</p> <p>④輪読参加・要約発表への質問：4%×10回=40%</p>
評価基準	<p>①論文輪読：割り当てページの十分な予習ができているか、適切なクイズを用意しているか。</p> <p>②適切なゼミ研究テーマを選択し、必要な参考文献リストを作成できるか。</p> <p>③本の要約発表：必要な下調べをしたのち、内容をレジュメにまとめて結論をつけ、適切な話し方で発表をしているか。準備不足は減点となる。</p> <p>④輪読、要約発表に適切な質問や意見を出しているか。</p>

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	プレ・ゼミの概要説明、研究倫理についての説明、論文輪読の割り当て	自己紹介、講義、質疑応答	輪読の準備
2	ゼミ研究のテーマ選択と先行研究、参考資料の探し方について	講義、インターネット検索の仕方、意見交換	輪読の準備、ゼミ研究テーマの選択
3	論文輪読と質疑応答①	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
4	論文輪読と質疑応答②	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
5	論文輪読と質疑応答③	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
6	論文輪読と質疑応答④	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
7	論文輪読と質疑応答⑤	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
8	論文輪読と質疑応答⑥	輪読、グループワーク、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 他学生：輪読予習
9	ゼミ研究テーマと参考文献リストの発表	発表、質疑応答、講評	ゼミ研究の仮テーマを選択、参考文献リストの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	本の要約発表①	要約発表、グループワーク、質疑応答、講評	要約発表準備ゼミ研究の資料探し
11	本の要約発表②	要約発表、グループワーク、質疑応答、講評	要約発表準備ゼミ研究の資料探し
12	本の要約発表③	要約発表、グループワーク、質疑応答、講評	要約発表準備ゼミ研究の資料探し
13	本の要約発表④	要約発表、グループワーク、質疑応答、講評	要約発表準備ゼミ研究の資料探し
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	振り返り、ゼミ I の準備	意見交換	ゼミ研究テーマ・資料探し

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	宮崎幸江	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更あり】

評価方法	① 授業への積極参加 30% ② 口頭発表 20% ③ 期末レポート 50%
評価基準	① 授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか。具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかを評価する。毎回クラス終了後にリアクションペーパーを提出する。 ② 口頭発表：毎回1～2名が、教科書の該当箇所を要約し、批判的に分析する。 ③ 期末レポート：バイリンガルの言語発達やことばとアイデンティティについて、先行研究を引用し、批判的に分析できているかを評価する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	A 第1章グローバリゼーションとは地球の縮小化とグローバルイシュー	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通し、グローバルイシューを調べる。
2	A 第2章グローバリゼーションと社会変動多文化化と多文化共生	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第2章を読み、キーワードを調べる。
3	A 第3章多文化共生のパースペクティブ同心円的パースペクティブからの転換	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第3章を読み、キーワードを調べる。
4	A 第4章文化とは何かグローバリゼーションと文化	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第4章を読み、キーワードを調べる。
5	A 第5章外国人として生きる偏見と言説	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第5章を読み、キーワードを調べる。
6	A 第6章マイノリティとマジョリティ外国人の子どもたちと日本の学校	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第6章を読み、キーワードを調べる。
7	A 第7章多文化社会と社会統合の在り方他国の事例	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第7章を読み、キーワードを調べる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	A 第9章日本社会と日本人であること日本人性、白人特権、脱構築	講義、グループディスカッション、質疑応答	テキスト第8章を読み188頁キーワードを調べる。
9	B 第1章文化間移動と子どもの言語発達母語、家庭と学校言語、継承語の違い	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第1章を読み課題の質問の答えを書いてくる。
10	B 第2章日本に住む多文化家庭のバイリンガリズム	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第2章を読み課題の質問の答えを書いてくる。
11	B 第3章子どものアイデンティティ交渉アイデンティティのゆれと確立	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第3章を読み課題の質問の答えを書いてくる。
12	B 第4章ブラジルの日系人と在日ブラジル人言語、文化、アイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第4章を読み課題の質問の答えを書いてくる。
13	B 第5章ことばとアイデンティティレポート作成と研究倫理	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第5章を読み課題の質問の答えを書いてくる。
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	期末レポートを書く。プレゼンテーションの準備を行う。

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	春学期に「SL 入門講座」を履修しなかった学生は秋学期に履修する。
-------------	-----------------------------------

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業 *適宜オンデマンドでの事前・事後学修及びグループによる授業時間外の準備学修を課す。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義と学生の発表をもとに、ブレイクアウト・ルームでの学生間の話し合いや、全体での意見交換を中心に進める。リアクションペーパーや相互フィードバックの提出はオンラインで行われる。学生の準備学修、提出課題等は Moodle 上にてやり取りする。グループでの課題学習に際しては、授業時間内にも話し合いと準備のための時間を設けるが、併せて授業外での準備学修も必須となる。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①授業時の活動への参加姿勢 (30%)、②リアクションペーパー及び相互フィードバック (30%)、③グループおよび個人プレゼンテーション (20%)、④課題 (20%)。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすくて確かな表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とビジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表、質疑応答を行える。 ④発表用レジュメ、ブックレポート、ブックリスト：テキストの要約やテーマに沿って調べた内容を、読み手を意識したわかりやすくて確かな表現で文章化できる。さらに、発表や論文等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿って資料として作成できる。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス発表グループと分担決め、研究倫理について指導	講義、グループワーク	テキスト通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法、グループでの発表準備	講義、グループワーク	テキスト通読 発表準備
3	模擬発表と2年生からのフィードバック フィードバックをもとに修正	学生発表、相互評価、 講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキストをもとに発表・ディスカッション	学生発表、相互評価、 講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキストの総括、ブックレポートについて 発表の進め方の指導	講義、グループワーク	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
6	ブックレポート発表・ディスカッション (1)	学生発表、相互評価、 講評、ディスカッション	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
7	ブックレポート発表・ディスカッション (2)	学生発表、相互評価、 講評、ディスカッション	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
8	ゼミ2年生最終プレゼンテーション、ディスカッションに参加 (1)	学生発表、相互評価、 講評	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	ゼミ 2 年生最終プレゼンテーション、ディスカッションに参加（2）	学生発表、相互評価、講評	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
10	ゼミ 2 年生最終プレゼンテーション、ディスカッションに参加（3）	学生発表、相互評価、講評	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
11	ゼミ 2 年生最終プレゼンテーション、ディスカッションに参加（4）	学生発表、相互評価、講評	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
12	ゼミ論作成に向けて研究分野・テーマを考える。ブックリスト共有	グループワーク、講義、発表、講評	ブックリスト発表準備、 リアクションペーパー
13	研究分野・テーマを反映したブックリスト発表・提出	グループワーク、講義、発表、講評	ブックリスト発表準備、 リアクションペーパー
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	振り返り活動とまとめ	グループワーク、 発表、まとめ	振り返りと総括（レポートとして提出）

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	2 年生の狩野ゼミナール II との並行開講も実施する。水曜の 4 限及び 5 限の時間帯においてフレキシブルに受講できるよう、各自スケジュール調整を行うことを期待する。
-------------	---

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4205	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	The class will meet on Zoom at the scheduled time. As much as possible, the class will be held similar to how it would be held in a classroom, with instruction by the teacher “live” via Zoom, many opportunities for students to work together in pairs or small groups, presentations by students via Zoom, etc. Homework and other materials will be provided to students via Loyola and/or Google Documents. Students will submit assignments via Google Forms/Documents and/or Loyola.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Participation (35%), Homework (35%), Presentations (30%).
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to express one’s own views; Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views, appropriate use of information from research sources; Presentations: appropriate use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, organization (including “preview” in Introduction) of spoken presentation and printed outline, appropriate use of research sources, good delivery (including voice, eye contact, etc.).

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course. Perspectives on multiculturalism. Explanation of Mini Research Project.	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus. Review handouts.
2	MiniResearch Project about one country. Explanation of upcoming Presentation #1, Fact Sheets, and readings / discussions.	lecture, small-group discussion	Do light research, prepare Mini Research Project homework.
3	Presentation basics (organization, “preview” of content, delivery, visuals). Research basics / ethics (using sources, avoiding plagiarism.)	lecture, small-group work, in-class writing	Review handouts distributed in class today. Prepare Fact Sheet (Canada / Australia).
4	Presentation #1 (¼ of students): Canada, Australia, Brazil, Mexico. Readings and discussion.	short presentations, small-group discussion	Prepare presentation, handout. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Sweden / France.)
5	Presentation #1 (¼ of students): England, France, Sweden, Turkey. Readings and discussion.	short presentations, small-group discussion	Prepare presentation, handout. Read handout, write summary.
6	Case study: reading and discussion. Explanation of Presentation #2.	small-group discussion, lecture	Prepare Fact Sheet (Malaysia / Indonesia).
7	Presentation #1 (¼ of students): Malaysia, Indonesia, India, Philippines. Readings and discussion.	short presentations, small-group discussion	Prepare presentation, handout. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Switzerland / South Africa).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Presentation #1 (¼ of students): Switzerland, South Africa, Israel, Egypt. Readings and discussion.	short presentations, small-group discussion	Prepare presentation, handout. Read handout, write summary.
9	Organizing and presenting your ideas.	lecture, small-group work, writing	Prepare Topic Sheet for Presentation #2.
10	Presentation #2 (¼ of students)	presentations, small- group discussions	Prepare presentation and outline / handout.
11	Presentation #2 (¼ of students)	presentations, small- group discussions	Prepare presentation and outline / handout.
12	Presentation #2 (¼ of students)	presentations, small- group discussions	Prepare presentation and outline / handout.
13	Presentation #2 (¼ of students)	presentations, small- group discussions	Prepare presentation and outline / handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of semester, course evaluation. Overview of Seminar I and Seminar II.	small-group work, in- class writing, lecture	Review materials studied to date.

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted by the beginning of class.
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と学生による発表、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出および学生の課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①討論への参画 (20%)、②研究発表 (30%)、③英文講読 (20%)、④リアクション・ペーパー (20%)、⑤ブックレポート (10%)
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②研究発表：テキストの内容を的確に整理してレジюмеを作成し、効果的な発表を行っているか。討論の論点を提示しているか。 ③英文講読：英文原書の内容を的確に把握し、途上国の女子教育の現状と課題を理解できているか。 ④リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：内容を的確に要約し、国際教育学の視点から意見を論理的、批判的に論述できているか。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	国際教育学の理論と研究倫理	講義、ディスカッション	テキスト序章の講読発表・ディスカッションの準備
2	援助と開発の歴史	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 1 章の要約発表・ディスカッションの準備
3	開発プロジェクトのタイプ	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 3 章の要約発表・ディスカッションの準備
4	参加型開発とは	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約発表・ディスカッションの準備
5	日本の NGO と参加型開発	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約発表・ディスカッションの準備
6	日本の開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約発表・ディスカッションの準備
7	開発教育ワークショップ	ワークショップ・解説・リアクションペーパー	配布資料の講読発表・ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	総合学習と ESD	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・ディスカッションの準備
9	参加型学習の歴史的系譜	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・ディスカッションの準備
10	これからの国際協力と開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト終章の要約発表の準備
11	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.1-3 の翻訳発表の準備
12	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.4-6 の翻訳発表の準備
13	<i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.7-10 の翻訳発表の準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	2 年生のゼミ論文発表会への参加	ディスカッション・リアクションペーパー	ブックレポートの作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義、学生間の話し合い、質疑応答によって授業を進める。授業に必要な資料は画面共有を通して確認しながら行い、学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	① 準備学修としての事前課題の提出 (2%×11回=22%) ② 授業への積極的参加 (10%) とリアクションペーパー (2%×14回=28%) ③ ブックレポート (25%) と発表 (15%)
評価基準	① 課題として指示された資料やテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を、論理的に記述できること。 ② 司会を担当する時には、話し合いのためのレジュメを作成し、主題に添った発展的質問を準備した上で話し合いをリードすること。また、質問されたことに答えられること。司会者以外の学生は話し合いが活発に進むよう積極的に発言し意見交換に貢献すること。 ③ 各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述した上で、分かりやすく口頭発表できること。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、夏休み課題の発表、研究倫理	講義、発表、意見交換、DVD視聴、リアクションペーパー	夏季休暇中の課題発表の準備
2	マザー・テレサの生涯 (1) 少女期	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①はじめに～p.31を読み意見をまとめる
3	マザー・テレサの生涯 (2) 召命と修道生活	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①pp.36～58を読み意見をまとめる
4	神の愛の宣教者会の創立	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①pp.60～95を読み意見をまとめる
5	神の愛の宣教者会の活動	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①pp.96～130を読み意見をまとめる
6	マザー・テレサの生き方の源泉	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①pp.132～176を読み意見をまとめる
7	マザー・テレサの真実	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト①pp.176～219を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に (1) 祈り、聞く	講義、発表、意見交換、リアクションペーパー	テキスト②はじめに～p.26を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に (2) 話す、見る	講義、発表、意見交換、リアクションペーパー	テキスト②pp.27～46を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	マザー・テレサと共に（3） ほほ笑む、泣く	講義、発表、意見交換、リアクションペーパー	テキスト②pp.47～66を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に（4） 呼吸する、食べる	講義、発表、意見交換、リアクションペーパー	テキスト②pp.67～86を読み意見をまとめる
12	学生発表（1）	発表、意見交換、講評 リアクションペーパー	個人研究に関する発表準備
13	学生発表（2）	発表、意見交換、講評 リアクションペーパー	個人研究に関する発表準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	学生発表（3）	発表、意見交換、講評 リアクションペーパー	個人研究に関する発表準備

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4211	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	The course procedure will be a combination of lecture, discussion, pair-work, and group work using the Zoom breakout room, presentation by students using PowerPoint slides, and Q&A. PowerPoint slides and other course materials used for lecture and students' presentations will be made available on Moodle. All assignments must be submitted through Moodle.
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Class participation (40%), research presentation (30%), final report (30%)
評価基準	To be distributed at the first class.

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	Lecture, discussion, Q&A	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Education and Gender- education of women in Afghanistan and India	Lecture, group work, discussion, presentation	Answer the questions on preview sheet (PS)
3	Unit 2 Global Warming – Environmental threats to our planet	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 2, do PS, prepare for discussion
4	Unit 3 Drinking Water – water problem in Gaza and water pollution	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 3, do PS, prepare for discussion
5	Unit 4 Poverty and Hunger – Child malnutrition in Niger; How to do research	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 4, do PS, prepare for discussion
6	Unit 5 Fighting Disease – Malaria and HIV / AIDS; discussing research topic	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 5, do PS, prepare for discussion
7	Unit 6 Terrorism – 9/11 Counter Terrorism Strategy; presentation of research topic	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 6, do PS, prepare for discussion
8	Unit 9 Genocide and Crimes against Humanity – The Khmer Rouge	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 9, do PS, prepare for discussion
9	Unit 10 Landmines – Demining in Afghanistan and Cambodia; essay writing	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 10, do PS, prepare for discussion
10	Unit 11 Refugees – Life in a Refugee Camp and International Refugee Law	Lecture, presentation, discussion	Read Unit 11, do PS, prepare for discussion
11	Democracy and human rights in Burma – struggle of the Rohingya people	Lecture, presentation, discussion	Do personal research on the topic, prepare for discussion
12	Research presentation by the students (by half students)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
13	Research presentation by the students (by the remaining students)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14	Recap of the course, Reflection time, submission of the final report	Discussion, feedback, Q&A	Prepare the final report, review the semester

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業だが、音声付のパワーポイントや映像配信なども時々用いる
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	授業は、教員の講義と学生の発表及び討議形式をとり、目的によってメインルームやブレイクアウトルームを使い分ける。教員の講義資料の配布、学生の発表のレジメ、パワーポイント原稿、コメントシートや中間・期末レポートの提出は Loyola を通して行う。Zoom 共有画面を使用して映像資料、講義資料、発表資料、ホワイトボード共同作業資料を提示する。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	討論への参画とコメントシートの提出 (30%)、テキストや輪読教材のレジメ (10%) 中間レポート (10%)、期末課題レポート (20%) テキストや輪読教材の発表 (15%)、中間レポート発表 (5%)、期末課題発表 (10%)
評価基準	<p>* 討論への参加：研究発表に対し、課題への問題意識を持ち、積極的に批判的に討議できているか。また各回のコメントシート (CS) に授業の準備と授業後の考察が論理的に書かれているか。</p> <p>* レジメ：文献の内容を的確に把握し、専門用語や図表や写真を使用して要点と考察を批判的にまとめることができたか。</p> <p>* 課題レポート：中間レポートは SDGs テーマと関連するトピックを選び、関連資料を参照しながら、興味深く、論理的に筋の通ったレポートに仕上げられたか。(2000 字) (詳細については初回の授業で説明する) 期末レポートは、SDGs の 17 のゴールを日本の地域課題と結び付け課題の現状と未来の方向性を考察できたか(5000 字~6000 字)</p> <p>* 発表：テキスト：内容を理解した上で関連文献の調査によって考察を深め、作成したレジメを効果的に使用した発表ができたか。中間課題：レジメを使用し、内容の要点と考察を明確に説明し質疑応答ができたか。期末課題：パワーポイントを効果的に使用し、内容の要点と考察を明確に伝え、質疑応答ができたか。</p>

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修 (予習・復習)：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入、授業の進め方、SDGs とは？SDGs 時代の教育、担当決め	講義、発表、担当決め	シラバス・プリントを読む
2	共同発表のやり方とレジメの書き方、コメントシート (CS) の書き方、研究倫理	講義、演習、話し合い	Ut.1 を読み CS を準備 発表準備
3	Global Issues 1 教育とジェンダー 国際開発論 11 章教育とジェンダー	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.1 の CS を提出/ 次章を準備 発表準備
4	Global Issues 2 地球温暖化 国際政治学をつかむ 25 章地球環境問題	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.2 の CS を提出/ 次章を準備 発表準備
5	Global Issues 3 飲料水の確保 国際開発論 8 章水と衛生	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.3 の CS を提出/ 次章を準備 発表準備
6	Global Issues 4 貧困と飢餓 国際開発論 4 章飢餓と栄養不足	発表、質疑応答、話し合い、講義	中間レポート提出 Ut.4 の CS を提出/次章を準備
7	Global Issues 5 病気との闘い 中間レポート報告 (1)	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.5 の CS を提出/次章を準備 発表準備、期末課題テーマ

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Global Issues 6 テロリズム 中間レポート報告(2)	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.6 の CS を提出/ 次章を準備 発表準備、アウトライン
9	Global Issues 8 核兵器 中間レポート報告(3)	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.8 の CS を提出/ 次章を準備
10	Global Issues 9 カンボジア大量虐殺 国際政治学をつかむ 22 章人権と民主主義	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.9 の CS を提出/ 次章を準備
11	Global Issues 10 地雷撤去 国際政治学をつかむ 21 章紛争解決	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.10 CS を提出/ 次章を準備 期末課題発表準備
12	Global Issues 11 難民 期末課題発表(1)PPT	発表、質疑応答、話し合い、講義	Ut.11 の CS を提出 期末課題提出
13	期末課題発表(2)PPT	Q&A、評価シート記入	評価シート提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	期末課題発表(3)PPT	記録、質疑応答	期末課題、評価シート

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	教科書以外の国際開発論や国際政治学の資料は、別途配布する
-------------	------------------------------

科目名	SES150: プレ・ゼミナール				担当教員	M. Lupas	
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4206	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	We will meet for class in Zoom at the scheduled class time. Handouts will be posted in Moodle. Reports and reflection papers can be submitted in Moodle and the teacher will give feedback to student assignments in Moodle.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Participation 14%, Reflection papers 26%, Book reports 30%, Presentation 30%
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> • Participation: active participation in activities • Reflection papers: 13 papers x 2 points each, completed at the end of each class session, summarizing the main points • Book reports: 6 reports x 5 points each, including a description of the characters, summary of the events or main points, and opinion question • Presentation uses both primary and secondary sources, includes the participation of all group members, follows <i>English Essentials</i> guidelines

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction. Research Ethics Education.	lecture, reflection paper	Review materials distributed in July
2	Sei Shōnagon	lecture, group work, reflection paper	Do book report 1
3	Murasaki Shikibu	lecture, group work, reflection paper	Do book report 2
4	Virginia Woolf	lecture, group work, reflection paper	Do book report 3
5	How to do a group presentation	lecture, reflection paper	Review <i>English Essentials</i> unit 3
6	Helen Keller	lecture, group work, reflection paper	Do book report 4
7	Mother Teresa	lecture, group work, reflection paper	Do book report 5
8	Preparing group presentations	pair work	Research presentation topic
9	Preparing group presentations	pair work	Work on research presentation / book report
10	Preparing group presentations	pair work	Work on research presentation / book report
11	Group presentations	student presentation, group work, discussion	Work on research presentation / book report
12	Group presentations	student presentation, group work, discussion	Work on research presentation / book report

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	Group presentations Book report exchanges	discussion	Do book report 6
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Reviewing students learning goals and coursework during the past semester	discussion, writing	Download and read students portfolio worksheets

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	永野 良博	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4218	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態で行う。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（20%）、論文（50%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的テーマの発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして人間性や社会について新たな発見を示すことが求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	ハンドアウトを読む
2	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
3	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
4	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
5	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
6	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
7	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
8	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
9	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
10	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
11	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
12	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	研究対象となる作品、研究課題の発表	発表、質疑応答	発表準備に関わる資料読解、資料作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	論文最終報告	発表、質疑応答	論文最終確認

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	平野 幸治	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4210	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	④ ①～③の組み合わせ（毎回の授業では「①主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業」を行うが、学生の便宜を考慮して適宜「③主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業」を実施し、準備学修の時間には Moodle 等に「②主に音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業」を用意し実施する。）
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し chat を用いて共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Loyola や Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①ディスカッション終了時にグループ内の書記が記入しその成果を発表する（5%×3回＝15%）。②学期末にグループワークの成果をプレゼンテーションする（27%：発表 15%＋レジュメ提出 12%）。③研究者としての倫理を踏まえたゼミ論文（5,000字程度の日本語）を学期末に提出（30%：アウトライン報告 5%＋ゼミ論文の中間発表 5%＋提出 20%）。④授業の終了時に回収する Shuttle card に発問の仕方、知識を検証する習慣を英語で述べる（2%×14回＝28%）。
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明する。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	William Shakespeare の悲劇 <i>Othello</i> と喜劇 <i>Pericles, Prince of Tyre</i> 研究の意義	講義とプロット・サマリーの説明	プリントの下調べおよび DVD の視聴
2	悲劇 <i>Othello</i> の作品研究の方向性について	①-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
3	喜劇 <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品研究の方向性について	①-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	<i>Othello</i> と <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品研究 (1) と③ゼミ論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
5	<i>Othello</i> と <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品研究 (2) と③ゼミ論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
6	<i>Othello</i> と <i>Pericles, Prince of Tyre</i> の作品研究 (3) と③ゼミ論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
7	③ゼミ論文のアウトライン報告と研究者としての倫理構築と plagiarism	発表と質疑応答および講義	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
8	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究の相関性について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
9	③ゼミ論文の中間発表（全員）および講評	発表と質疑応答および講評	発表用の原稿作成と資料整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (1) : 内面、特に不寛容について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
11	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (2) : 内面、特に和解について	①-3 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
12	映画 <i>The Hours</i> と作家 Virginia Woolf の研究 (3) : 登場人物の成熟について	ディスカッションを踏まえた講義	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
13	②グループワークの成果の発表・レジュメ提出と講評	②発表の講評と③論文の回収	③ゼミナール論文の提出準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	②レジュメの返却および③ゼミナール論文の返却と講評	論文の返却と公表、ディスカッション	ノートの整理

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	近藤 佐智子	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4208	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、学生の発表、質疑応答、教員による講評、ディスカッションを中心に授業を進める。学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態で行う。教員の資料配布、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	実証研究論文（40%）、発表（30%）、4回の発表のレジメ提出（20%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	<p>実証研究論文（40%） テーマや仮説の設定が適切か、仮説が検証できる調査方法か、データ分析が適切か、研究結果が論理的に説明できているか、研究結果を先行研究と比較して検証しているか、定められた書式にそって書かれているか</p> <p>発表（30%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計4回の発表 発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか、的確に要点を捉えているかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か）</p> <p>4回の発表のレジメ提出（20%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計4回の発表レジメの提出（内容のポイントを捉えているかどうか、全回提出したかどうか）</p> <p>授業時の積極参加（10%） 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	研究の進め方、研究倫理教育、読んだ論文の内容発表	講義、学生の発表ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究データ分析
2	研究中間報告発表（1）グループA	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備
3	研究中間報告発表（1）グループB	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備
4	研究中間報告発表（1）グループC	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備
5	研究中間報告発表（2）グループA	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表（2）グループB	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表（2）グループC ゼミ論文作成 グループ	学生の発表ディスカッション	中間報告の準備、ゼミ論文作成
8	最終研究発表 グループ① ゼミ論文作成	学生の発表ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
9	最終研究発表 グループ② ゼミ論文作成	学生の発表ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	最終研究発表 グループ③ ゼミ論文作成	学生の発表ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
11	最終研究発表 グループ④	学生の発表ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文初稿提出
12	論文講評、論文修正、abstract の書き方	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
13	論文修正	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	総括	ディスカッション	ゼミ論文最終稿提出

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300: ゼミナールⅡ				担当教員	丹木 博一
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4214	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイム型の授業とし、教員による講義と質疑応答、および学生間の議論を中心に授業を進める。教員による資料の掲出、および学生によるリアクションペーパーや課題の提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	提出課題（16%=2%×8回）、授業参画（14%=1%×14回）、研究発表（20%）、ゼミ論文（18,000～20,000字）（50%）
評価基準	提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 研究発表：自身の哲学的・倫理的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。 ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理・研究発表方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題（ブックノート）提出
2	『ニコマコス倫理学』第1巻第1・4・5章講読・テキスト批評+ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	ゼミ論レイアウト提出。教科書 pp.11-41 を読んでおく。
3	『ニコマコス倫理学』第1巻第7章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.52-62 を要約し、問題を提起する。
4	『ニコマコス倫理学』第1巻第8・9章講読・テキスト批評+研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.64-75 を要約し、問題を提起する。
5	『ニコマコス倫理学』第2巻第1・2章講読とテキスト批評+ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.100-110 を要約し、問題を提起する。
6	『ニコマコス倫理学』第2巻第3・4章講読とテキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.112-122 を要約し、問題を提起する。
7	『ニコマコス倫理学』第2巻第5・6章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.124-136 を要約し、問題を提起する。
8	『ニコマコス倫理学』第2巻第7・8・9章講読・テキスト批評+研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.138-156 を要約し、問題を提起する。
9	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
10	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
11	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初校提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文初校についての講評 ゼミ論文作成のためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。
---------------------	--

科目名	SES300: ゼミナールⅡ				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いてのリアルタイム授業となる。ゼミ生の中間報告は PPT またはレジュメを画面共有して行い、質問・意見は Zoom のチャットに書き込む。ゼミ論文は、Moodle に提出となる。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①レジュメなどを用いた中間研究報告：15%×2回=30% ②A4で10枚以上、参考文献リスト、引用註つきのゼミ論文：40% ③報告に対する意見・質問：3%×10回=30%
評価基準	①テーマが適切に設定され、必要な参考文献・資料を参照しているか、構成が適切であるか、発表レジュメが適切に作成されているか ②ゼミ論文の書式・締め切りを守り、参考文献を踏まえて自分なりの結論に至っているか ③積極的に質問・意見を述べているか

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の成果報告、研究倫理についての説明、中間報告についての説明	発表、講義、質疑応答	成果報告準備 中間研究準備
2	ゼミ論文の構成と中間報告についての具体的な説明	講義、質疑応答	中間研究報告準備
3	ゼミ論文の1回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
4	ゼミ論文の1回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
5	ゼミ論文の1回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
6	ゼミ論文の1回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
7	ゼミ論文の1回目中間報告⑤	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
8	ゼミ論文の書式、構成、引用註、表の扱いについて	講義、質疑応答、ディスカッション	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
9	ゼミ論文の2回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
10	ゼミ論文の2回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
11	ゼミ論文の2回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
12	ゼミ論文の2回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	ゼミ論文の 2 回目中間報告⑤	発表、質疑応答、講評	2 回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文の講評 振り返りと研究の総括	ゼミ論文の相互講評、 教員の講評	ゼミ論文振り返り ゼミ論文加筆修正

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoomを用いたリアルタイムの授業とし、教員による講義と質疑応答、学生による口頭発表と質疑応答、そして学生間の議論を中心に授業を進める。教員による講義や学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoomに参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行うが、後者の場合は各自が参加したことを示す文章を作成し授業内で共有しながら進める。教員の資料掲出、学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	授業への積極的参加 20%、口頭発表 30%、ゼミ論文 50%
評価基準	<p>授業参加：準備として文献を読んだ上でディスカッションに臨んでいるかどうか、積極的に質問をすることで、自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかで評価する。</p> <p>口頭発表：各自の研究テーマにそってポイントを述べ、問題解決に向けた考察ができているかを評価する。</p> <p>ゼミ論文：文献をもとに、言語マイノリティの教育問題を批判的に分析し、論文にまとめる力を評価する。</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告 2	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告 3 研究倫理について	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
4	卒業研究の計画について 論文の構成とアウトライン	講義と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込みアウトラインを書く
5	文献講読 1 自研究テーマに関する文献のレポート	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
6	文献講読 2 過去 2 年間のゼミ論文を読む	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
7	論文の構成を考える グループでの話し合い	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
8	ゼミ論文の書き方 1 構造、先行研究の引用、データの分析等	講義と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
9	ゼミ論文アウトライン発表（全員）	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
11	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
12	ゼミ論文指導	講義、質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
13	ゼミ論文の書き方 2 データの分析、参考文献の書き方等	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文作成
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	最終発表、まとめ	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	1年次から継続してきたサービスラーニング活動から、地域社会の課題解決に向けたアクティブラーニングを行ない卒業研究とする。
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業 *適宜オンデマンドでの事前・事後学修及びグループによる授業時間外の準備学修を課す。
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業で、教員の講義と学生の発表をもとに、ブレイクアウト・ルームでの学生間の話し合いや、全体での意見交換を中心に進める。リアクションペーパーや相互フィードバックの提出はオンラインで行われる。学生の準備学修、提出課題等は Moodle 上にてやり取りする。論文作成に際しては、執筆のみならず参考文献を調べることも含めた授業外での準備学修も相当数必須となる。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（20%）、②リアクションペーパー及びフィードバック（20%）、③プレゼンテーション（30%）、④ゼミナール論文（30%）。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。 ③ゼミナール論文の内容について聞き手が理解しやすい構成とヴィジュアル資料を活用した準備と発表、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文として十分な文献や資料を調べ、所定の構成および書式に則った文章を作成できる。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成に向け進捗状況と課題点の確認 研究倫理について確認と指導	講義、グループワーク、教員との個別相談	プレゼミナールテキスト復習 テーマアウトライン準備
2	論文作成に向けグループディスカッション、相互コメント。各自ブックリスト整理	個別活動 グループワーク	文献研究 テーマアウトライン準備
3	グループでの協議。各自論文作成に向け準備：概要(目次)を作成・ブックリスト提出	個別活動 教員との個別相談	文献研究 テーマ概要発表準備
4	論文テーマの概要(目次)と参考文献リストを発表、ディスカッション	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	最終プレゼンテーション（論文報告）準備（1）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	最終プレゼンテーション（論文報告）準備（2）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	最終プレゼンテーション（論文報告）準備（3）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
8	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（1）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備、論文執筆 リアクションペーパー
9	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（2）	学生発表、相互評価、講評	発表準備、論文執筆 リアクションペーパー
10	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（3）	学生発表、相互評価、講評	発表準備、論文執筆 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（4）	学生発表、相互評価、講評	発表準備、論文執筆 リアクションペーパー
12	論文作成・アドバイザーによる個別アドバイス	個別活動 教員との個別相談	論文初校提出準備
13	論文初校提出：相互校正	相互校正、相互評価	論文初校修正、最終稿へ向け 修正方針をまとめる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文を相互に読みあい講評と校正、ゼミナール総括	振り返り活動、ディスカッション	論文初校修正方針の確認、論文最終稿提出準備

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	1年生の狩野プレ・ゼミナールとの並行開講も実施する。水曜の4限及び5限の時間帯においてフレキシブルに受講できるよう、各自スケジュール調整を行うことを期待する。
-------------	---

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4216	オフィスワー P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	<p>④ ①～③の組み合わせ</p> <p>授業時間は Zoom 型とオンデマンド型の合計時間 準備学修時間は上記の事前事後の（ゼミ論の準備、シャトルカードの作成、発表の準備を含む）準備学修の合計時間</p> <p>毎回 Zoom 上で授業を開始する。講義、質疑応答、ペアワーク、学生発表、ディスカッションのうち Zoom では Zoom でしかできない活動を優先的に行う。シャトルカードは Moodle か Google Classroom 上で提出する。</p>
--------	---

【授業の進め方】

授業の進め方	<p>「授業計画」の詳細を Moodle か Google Classroom 上で指示する。履修者はこの指示に従い、ゼミ論の作成を進める。論文作成上の重要事項はオンデマンド型の講義として用意する。授業はペアワーク、ディスカッション、そして学生発表を主体に行う。学生はゼミ論の各要素の進捗状況をシャトルカードで報告する。教員は学生のシャトルカードにフィードバックを返す。シャトルカードとフィードバックの内容を基に問題設定、先行研究、仮説（自説）の提示、仮説の論証の各項目をゼミ論としてまとめる。</p>
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	<p>1. 授業参加は毎回のシャトルカードとペアワークの内容（40%） 2. ゼミ論文と発表と質疑応答の内容（60%）</p>
評価基準	<p>詳細は初回授業時に説明する。</p>

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	科学を相対化：ゼミ論文は科学的ではなく解釈学・修辞学・文献学的	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト予習 pp. 7-51
2	研究態度を見直す：文化消費から文化批判 <i>Hannah Arendt (film) (2012)</i>	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題映画を視聴し、要点を下調べ
3	情報をどう収集するか？	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト予習 pp. 52-70
4	情報をどう整理するか？	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト予習 pp. 71-105
5	情報を整理してプレゼンテーションする	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト予習 pp. 106-122
6	文章としてどうまとめるか？	講義、ペアワーク、ディスカッション	テキスト予習 pp. 123-146
7	卒論の様式マニュアル ゼミ論文中間発表（Group 1）	講義、ペアワーク、ディスカッション、発表	テキスト予習 pp. 147-195 ゼミ論文発表準備
8	ゼミ論文中間発表（Group 2）	学生発表、質疑応答、講評	ゼミ論文発表準備
9	ゼミ論文中間発表（Group 3）	学生発表、質疑応答、講評	ゼミ論文発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	ゼミ論文直前発表（Group 4）	学生発表、質疑応答、講評	ゼミ論文発表準備
11	ゼミ論文直前発表（Group 5）	学生発表、質疑応答、講評	ゼミ論文発表準備
12	研究倫理教育 ゼミ論文の提出	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文提出準備
13	ゼミ論文の返却と講評 再提出の案内	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文再提出準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	学修の振り返り	学生発表、質疑応答、講評、個人指導	振り返りの準備

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	神谷 雅仁	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4215	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業は担当学生のゼミナール論文に関わる研究発表＋質疑応答／ディスカッション（発表者以外の学生からの質問、感想、意見、問題提起等に発表者が応対する）、および教員のフィードバックで構成される。 ・発表学生は毎回自分のレジュメを作成し、Zoomにおいて画面共有をすることが求められる。
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール論文：50% ・個人発表（2回）およびディスカッション：30% ・授業参加：20%
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール論文：提出された論文が、全体の構成を含め一つの論文として成り立っているか。つまり授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成しているかどうか。 ・発表：自らの研究内容を口頭、そしてレジュメを用いてわかりやすく説明しているか、また研究内容に関して質問された際、過不足なく答えているか、など。 ・授業参加：聴衆（オーディエンス）として発表者の発表に対してコメントや質問を含めたフィードバックを返しているかどうか、またそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的であり、示唆を与えるものであり、そして批判的であるかどうか問われる。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview ゼミナール論文について、研究倫理について、「論文の基本構成」提出	講義、ディスカッション、SAMPLE 提示	ゼミナール論文のテーマ決め、「論文の基本構成」準備
2	第1回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
3	第1回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
4	第1回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
5	第1回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
6	第1回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
7	第1回プレゼンテーション Group 6（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
8	第2回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
9	第2回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	第 2 回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
11	第 2 回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
12	第 2 回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
13	第 2 回プレゼンテーション Group 6（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Course review ゼミナール論文作成準備	講義、グループワーク、ディスカッション	振り返り・総括、ゼミナール論文の作成準備

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、学生による口頭発表と議論を中心に授業を進める。学生による発表に必要な資料は画面共有を通して確認しながら進める。学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態とブレイクアウト・ルームの双方で行う。教員の資料掲出および課題提出は Moodle を通して行う。
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	①討論への参画（10%）、②リアクションペーパー（20%）、③研究発表（30%）、④ゼミ論文（40%）
評価基準	①討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③研究発表：研究内容を論理的に論述、考察し、説得力のある発表になっているか。 ④ゼミ論文：先行研究の検討、研究課題の設定、研究方法、内容が論文の技法に即していて適切であるか。書式や提出期限を守っているか。

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミ論文の書き方、研究倫理	発表・解説・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
2	ゼミ論文中間発表と討論（1）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
3	ゼミ論文中間発表と討論（2）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
4	ゼミ論文中間発表と討論（3）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
5	ゼミ論文中間発表と討論（4）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
6	ゼミ論文中間発表と討論（5）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
7	開発教育ワークショップの準備	ディスカッション・相互評価講評	解説の要約、教材の準備
8	開発教育ワークショップの実践	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	教材の準備、論文の作成
9	ゼミ論文発表と討論（1）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	ゼミ論文発表と討論（2）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
11	ゼミ論文発表と討論（3）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
12	ゼミ論文発表と討論（4）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
13	ゼミ論文発表と討論（5）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成ディスカッションの準備
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文発表会	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、レジュメの作成

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	ゼミ生には討議への活発な参加を求める。発表の 1 週間前までに原稿を教員に提出し、添削を受けること。
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	小林 宏子	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	Zoom を用いたリアルタイムの授業とし、学生による口頭発表と質疑応答、教員による講評を経て、学生各自は、個人研究の成果をゼミ論文の形にまとめてゆく。学生による発表に必要な資料は画面共有を通して提示し、学生間の議論は、全員が Zoom に参加した状態で行う。学生の発表資料及び課題提出は Moodle を通して行う。
--------	--

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	①課題設定、文献・資料検索、3回の中間発表（7%×3=21%） ②授業内の質疑応答における積極的発言とリアクションペーパー（3%×13回=39%） ③ゼミ論文（40%）
評価基準	①社会的事象にかかわる問題について、キリスト教人間学の視点を踏まえて課題設定を行い相応しい文献や資料を見つけて内容を正しく理解し、考察を深めた上で独自の意見を構築することができたか。また、レジュメを作成し論理的、かつ分かりやすい形で中間報告をすることができたか。 ②他者の発表の要点を理解した上で適切な質問や意見を述べ、また、書くことができたか。 ③A4用紙で8頁以上、参考文献リスト、脚注つきの、論旨が明確なゼミ論を仕上げることができたか。

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の研究進捗状況の報告研究倫理について	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	夏休みの研究成果発表準備
2	ゼミ論文の1回目中間報告①	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	1回目中間報告準備
3	ゼミ論文の1回目中間報告②	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	1回目中間報告準備
4	ゼミ論文の1回目中間報告③	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	1回目中間報告準備
5	ゼミ論文の1回目中間報告④	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	1回目中間報告準備
6	ゼミ論文の2回目中間報告①	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	2回目中間報告準備
7	ゼミ論文の2回目中間報告②	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	2回目中間報告準備
8	ゼミ論文の2回目中間報告③	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	2回目中間報告準備
9	ゼミ論文の2回目中間報告④	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	2回目中間報告準備、ゼミ論文の執筆
10	ゼミ論文の3回目中間報告①	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	3回目中間報告準備、ゼミ論文の執筆

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	ゼミ論文の 3 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	3 回目中間報告準備、ゼミ論文の執筆
12	ゼミ論文の 3 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	3 回目中間報告準備、ゼミ論文の執筆
13	ゼミ論文の 3 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評 リアクションペーパー	3 回目中間報告準備、ゼミ論文の提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文についての講評と意見交換	講評、意見交換	意見交換のための準備

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	Thomas	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4211	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	The course procedure will be a combination of lecture, discussion, pair-work, and group work using the Zoom breakout room, presentation by students using PowerPoint slides, and Q&A. PowerPoint slides and other course materials used for lecture and students' presentations will be made available on Moodle. All assignments must be submitted through Moodle.
--------	---

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Class participation (20%), reaction paper (20%), presentation of research result (20%), thesis (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: course materials and policies; research ethics	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Interim research presentation (group 1)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
3	Interim research presentation (group 2)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
4	Interim research presentation (group 3)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
5	Building “Negative Peace”: third-party involvement, negotiating techniques	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
6	Peace through strength: balance of power, collective security, deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
7	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
8	International organizations: The League of Nations, The United Nations etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
9	International law: enforcement of international law	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
10	War and general ethics, religious support for war	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
11	Research presentation by students (group 1)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
12	Research presentation by students (group 2)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
13	Research presentation by students (group 3)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14	Conclusion, submission of thesis	feedback, discussion, Q&A	Prepare for review of the semester, submit thesis

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールII				担当教員	岩崎 明子	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4213	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業。
--------	---------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	授業は、教員の講義と学生の発表及び討議形式をとり、目的によってメインルームやブレイクアウトルームを使い分ける。教員は講義資料の配布に、学生はワークシート、発表のレジメ、パワーポイント原稿、論文原稿等の提出に Loyola を使用する。Zoom 共有画面を使用して映像資料、講義資料、発表資料、ホワイトボード共同作業資料を提示する。
--------	---

【評価方法：変更あり】 【評価基準：変更あり】

評価方法	1) 課題のまとめ、レジメ・パワーポイントの作成、発表 (20%) 2) ワークシートの提出 (30%) Loyola 3) ゼミ論文に関わる提出 (50%) Loyola
評価基準	1) レジメ ：明確な発表内容の概要説明、他の資料を論拠とした問題の分析と考察、質疑内容を効果的にまとめ、期日通りに提出したか。 パワーポイント ：特性を生かし最適な文字・絵・写真・表・グラフを用い効果的な発表をしたか。 発表と討論 ：レジメやパワーポイントの効果的使用、よく準備された解説、質疑応答、活発な討論を実施できたか。 2) ワークシート提出 (Loyola) 6回：(準備)予習による内容理解と要点作成、(討論)内容を引用し、発表者に対するの質疑や課題の指摘、論理的な討論ができたか。(振り返り)授業での学びと考察を反映した内容となっているか。 3) ゼミ論文に関わる文書 を期日通りに提出できたか。(①アウトライン・要旨・文献一覧、②推敲原稿 1~2章/1章~4章、③中間発表レジメ、④ゼミ論初稿、⑤ゼミ論研究発表レジメ [パワーポイント印刷]、⑥ゼミ論清書) *論文の評価ポイントは後日説明

【運営方法、教育手法：変更あり】 【準備学修 (予習・復習)：変更あり】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス、研究倫理、論文の主題・結論 SDGs 実現に向けた課題と枠組み	講義、意見交換	教科書 1章準備 /アウトライン・要旨・文献発表準備
2	1章 SDGs と国際貢献 ゼミ論要旨・アウトライン・文献の発表	発表、意見交換、講義	教科書 2・3章準備、 ゼミ論 1章執筆
3	2章 アフリカにおける国際貢献と SDGs 3章 ラテンアメリカにおける国際貢献と SDGs	発表、意見交換、講義	教科書 4.5章準備
4	4章 中国における脱貧困事業と SDGs 5章 高等教育パートナーシップと SDGs	発表、意見交換、講義	教科書 6.8章準備、 ゼミ論 2章執筆
5	6章 SDGs 達成に不可欠な ICT 8章 社会的保護・社会保障と SDGs	発表、意見交換、講義	教科書 9・10章準備 (1・2章原稿提出)
6	9章 SDGs 不可欠な障害者支援 10章 都市コミュニティと SDGs	発表、意見交換、講義	教科書 11・12・13章準備 ゼミ論 3章の執筆
7	11章、12章、13章 水道整備、クリーン・エネルギー、都市化	発表、意見交換、講義	中間発表レジメ用意 教員と推敲 (1・2・3章)
8	ゼミ論文中間発表① ゼミ論 1章と 2章の相互読書	発表、意見交換、講義	中間発表レジメ用意 ゼミ論 4章の執筆
9	ゼミ論文中間発表② ゼミ論 3章と 4章の相互読書	発表、意見交換、講義	中間発表レジメ用意 (1~4章原稿提出)
10	ゼミ論文中間発表③ ゼミ論個別指導	発表、意見交換、講義	ゼミ論初稿提出準備 教員と推敲 (主題と結論)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	SDGs のまとめ ゼミ論個別指導	意見交換、講義	教員と推敲（全体） ゼミ論文初稿提出（12月）
12	ゼミ論文研究発表（1）	発表、意見交換、講義	ゼミ論文初稿返却
13	ゼミ論文研究発表（2）	発表、Q&A、評価、 自己評価	PPT の用意
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	ゼミ論文研究発表（3）	発表、Q&A、評価、 自己評価	ゼミ論文清書提出（1月）

【その他 特記事項：変更あり】

その他 特記事項	教科書新盤に変更、東洋大学国際共生社会研究センター監修(2019)『国際貢献と SDGs の実現—持続可能な開発のフィールド—』朝倉書店
-------------	--

科目名	SES300:ゼミナールⅡ				担当教員	M. Lupas	
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4206	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業実施方法】

授業実施方法	① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
--------	--------------------------

【授業の進め方】

授業の進め方	We will meet for class on Zoom at the scheduled class time. Handouts will be distributed in Moodle. Reports thesis drafts can be submitted in Moodle and the teacher will give feedback on student reports and drafts in Moodle.
--------	--

【評価方法：変更なし】 【評価基準：変更なし】

評価方法	Participation 20%, Book reports 20%, Graduation thesis 35%, Presentations 25%
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> Participation: active participation in activities Book reports: 5 reports x 4 points each Graduation thesis: submission of an outline and preliminary thesis or research question (5 points), timely submission of a first draft (10 points), final version of graduation thesis evaluated on organization, quality and number of sources, language, and meeting page length requirement (20 points) Presentations are about the graduation thesis and uses both primary and secondary sources, and follows <i>English Essentials</i> guidelines

【運営方法、教育手法：変更なし】 【準備学修（予習・復習）：変更なし】

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics Education. Short research topic presentations	Lecture, group work, presentations	Prepare update on your research topic
2	Sharing book report 1. Seminar support group.	Presentations, Q&A	Prepare book report 1
3	Sharing book report 2. Seminar support group.	Presentations, Q&A	Prepare book report 2
4	Sharing book report 3. Seminar support group.	Presentations, Q&A	Prepare book report 3
5	Short Presentation 1 about your research topic	Presentations, Q&A	Prepare presentation
6	Short Presentation 1 about your research topic	Presentations, Q&A	Prepare presentation
7	Sharing book report 4.	Presentations, Q&A	Prepare book report 4
8	Sharing book report 5.	Presentations, Q&A	Prepare book report 5
9	Writing the title and introduction	Lecture, pair work	Write draft of graduation thesis
10	Writing the conclusion	Lecture, pair work	Review class handouts
11	Final presentations	Presentations, whole class discussion	Prepare presentation and finish writing graduation thesis

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	Final presentations	Presentations, whole class discussion	Prepare presentation and finish writing graduation thesis
13	Final presentations	Presentations, whole class discussion	Prepare presentation and finish writing graduation thesis
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	Reviewing students learning goals and coursework during the past semester	Group work, in-class writing	Download and read students portfolio worksheets

【その他 特記事項：変更なし】

その他 特記事項	
-------------	--